

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 株式会社日立製作所		住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒100-8280 東京都千代田区丸の内一丁目6番6号	
本票作成	部署名：システムサービス部 統括本部 経営戦略統括本部 環境推進本部 環境推進センタ				
主たる業種	分類コード	29	業種名：電気機械器具製造業		
事業の概要	岡山地区の営業活動及び情報処理サービス業、在籍人数：360人				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	1	日立システムプラザ岡山		—	
	2	金融システム事業部		岡山県岡山市北区柳町1-1-1	
	3	中国支社 岡山支店		岡山県岡山市北区下石井一丁目1-3	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 3 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和2)年度排出量	目標年度(令和6年度)
	19,966 t CO <sub>2</sub>	17,232 t CO <sub>2</sub>	23,960 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和2)年度排出量
	1	日立システムプラザ岡山	17,006 t CO <sub>2</sub>
	2	金融システム事業部	225 t CO <sub>2</sub>
	3	中国支社 岡山支店	1 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
		t CO <sub>2</sub>	t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和6年度	(5箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	13.7 %	△20.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和2年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

①日立システムプラザ岡山

- クラウド事業の拡大による使用電力量(温室効果ガス)は増加が予想されたが、平成32年度から最新の省エネルギー型空調設備への更新を段階的に継続して実施したこと並びに、空調機の設定温度の変更及びエアフローの改善による空調効率の向上により使用電力量の抑制を図れた。
- 省エネルギー法に基づき、業用機器電力の比(原単位)を平成28年度比で令和2年度は4.6%削減し、計画目標を達成。

②金融システム事業部、③中国支社岡山支店：テナントとして入居している2拠点

- ビルオーナーの省エネ施策への協力の継続とコロナ禍でのリモートワーク(在宅勤務)の実施により成果を得た。

**【推進体制】**

<p>①日立システムプラザ岡山</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO14001認証取得の一部門として環境マネジメントの運用体制を維持し、推進責任者をトップとして省エネ・省資源等の環境改善活動を実施。</li> <li>・省エネ法に基づくエネルギー管理体制を維持し、エネルギー使用(削減)状況のモニタリングを継続。</li> </ul> <p>②金融システム事業部、③中国支社岡山支店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部門責任者が取り纏めて自社の全社活動であるエコマインド教育を部門の全員に受講させて環境配慮の業務(省エネ・省資源等)の実施、環境配慮型の製品及びサービスを顧客に提供するスキルの維持・向上を図った。</li> </ul> <p>※上記①～③部門の共通事項：コロナ禍の中で交替制によるリモートワーク(在宅勤務)を行う勤務体制を構築。</p>
---

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
①日立システムプラザ岡山	<p>(令和2年度実施)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空調機の稼働台数削減及び設定温度の変更実施</li> <li>2. マシン室のエアフローの分析と流路調整による空調の最適化</li> <li>3. エコマインド教育の全員受講による省エネ・省資源意識向上とスキル維持</li> <li>4. 照明灯のLED化(CO2排出量を更新前の44%削減)</li> <li>5. 旧型空調機を高効率型空調機へ更新(CO2排出量を更新前の15%削減)</li> <li>6. 空調室外機への太陽光を遮蔽し機器温度上昇を抑制(CO2排出量2%削減)</li> <li>7. リモートワーク(在宅勤務)、クールビズ・ウォームビズ運動の実施</li> </ol> <p>(今後実施予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 照明設備のLED化の継続</li> <li>2. 空調機を高効率機へ更新の継続</li> <li>3. リモートワーク(在宅勤務)並びにクールビズ・ウォームビズ運動の継続</li> </ol>
②金融システム事業部 ③中国支社岡山支店	<p>(令和2年度実施)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空調機の稼働台数削減(空調機の交互運転等)及び設定温度の変更実施</li> <li>2. カーテン/ブラインドの細かな開閉管理(窓部からの赤外線遮熱、放熱抑制等)</li> <li>3. エコマインド教育の全員受講による省エネ・省資源意識向上とスキル維持</li> <li>4. 働き方改革による全員定時退勤の実施(週1回程度)と時間外勤務の削減</li> <li>5. ビルテナントオーナー、ビルサービス/管理会社の実施する省エネ施策への協力</li> <li>6. クールビズ・ウォームビズ運動の実施</li> </ol> <p>(今後実施予定)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上記施策の継続的实施(ビルテナントとして可能な活動を実施)</li> <li>2. 時間外勤務、休日出勤の削減</li> <li>3. リモートワーク(在宅勤務)の継続</li> </ol>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	有	岡山リサーチパーク内に日立システムプラザ岡山が管理する森林(広葉樹林)を保有し、保全・維持を継続。
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	日立システムプラザ岡山の敷地内に電源自立型(ソーラーパネル付)屋外灯を2個所に設置し、維持。
その他	無	

**【その他特記事項】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日立システムプラザ岡山では、毎年会社支援の下で社員のボランティアによる事業所周辺のクリーン化(清掃)活動を実施しており、地域への社会貢献を兼ねた地域美化・緑地保全により間接的に地球温暖化の防止を図っている。</li> </ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
---